

淀川河口と神崎川河口に挟まれた海岸は、江戸時代、京都の矢倉九右衛門により新田として干拓されたため、「矢倉海岸」と呼ばれています。

矢倉海岸に向かう途中の大野川緑陰道路の林では、スズメやムクドリ・ヒヨドリ、シジュウカラやメジロ・カワラヒワなどの留鳥が子育てをしているようすが見られるかもしれません。

淀川の鉄塔で巣作り・子育てをしているミサゴのくらしぶりを観察しましょう。

淀川と神崎川が合流する地点の干潟では、チドリやシギのなかまが多数集結しています。チドリ・シギの識別は難しいといわれていますが、こういった点に注意すれば見分けられるのか、チャレンジしてみましょう。

厳しい寒さを乗り切るために渡って来た海辺の鳥たちの姿をじっくりと観察しましょう。

やさしいきもち 野外活動、無理なく楽しく
採集は控えて自然はそのままに
静かに、そーっと
一本道、道からはずれないで
気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
持って帰ろう、思い出とゴミ
近づかないで、野鳥の巣

あおぞら財団共催 淀川河口 矢倉緑地

2025年5月10日(土)



担当：あおぞら財団

藤村	はるえ	杉本	マサ子
山下	保子	石川	良隆
上村	賢	(090-8653-9165)	

淀川河口 矢倉緑地		2025年		よどがわかこう やぐらりよくち		2025年	
		5月				5月	
		10日				10日	
		曇り				くもり	
		天候 みつけた鳥・きいた鳥				姿	声
27	オカヨシガモ			343	ミサゴ	○	
29	ヒドリガモ			353	ハイタカ		
32	カルガモ	●		354	オオタカ		
33	マガモ			355	チュウヒ		
35	コガモ			359	トビ	●	
39	ホシハジロ	○		384	カワセミ		○
43	キンクロハジロ			390	コゲラ	○	
44	スズガモ	○		402	チョウゲンボウ		
59	ウミアイサ			407	ハヤブサ		
89	キジバト	○		425	モズ		
93	アオバト			435	ハシボソガラス	○	○
101	オオバン			436	ハシブトガラス	○	○
117	カイツブリ	○		442	ヤマガラ		
119	カンムリカイツブリ	○		447	シジュウカラ		
121	ハジロカイツブリ			450	ヒバリ		
128	ケリ	●		456	ヒヨドリ	○	○
131	ダイゼン			461	ツバメ	○	
134	イカルチドリ			464	ウグイス		
135	コチドリ	●		501	メジロ	○	○
136	シロチドリ			507	ムクドリ	○	○
137	オオメダイチドリ			564	イソヒヨドリ	○	
138	メダイチドリ	●		575	スズメ	○	○
144	チュウシャクシギ	○	○	585	ハクセキレイ	○	○
146	ホウロクシギ	○		608	カワラヒワ	○	○
148	ダイシャクシギ			618	ホオジロ		
149	オオソリハシシギ			633	アオジ		
152	キョウジョシギ	○		233	コアジサシ	○	○
159	サルハマシギ			484	オオヨシキリ		○
160	オジロトウネン						
163	トウネン	○					
164	ミユビシギ						
165	ハマシギ	○					
184	ソリハシシギ						
188	イソシギ	○	○				
192	キアシシギ	○	○				
194	アカアシシギ						
198	アオアシシギ						
221	ウミネコ						
315	カワウ	○					
328	ゴイサギ	○		※	カワラバト(ドバト)	○	○
330	ササゴイ	○		合 計		37	15
333	アオサギ	○				39	
335	ダイサギ	○					
337	コサギ	○					